

# 新たに加わる 平成の百文様 百年後の 誰かに つなげるために



雲母唐長 唐紙師  
トアキヒコさん



目前に小倉山、その向こうに嵐山。  
大きな窓から見える贅沢な眺め。

代々伝わる文様とトブルーに囲まれた美しい部屋。  
風光明媚な奥嵯峨の地に建つ

雲母唐長さんの新しいアトリエで

唐紙師トアキヒコさんにお話を伺いました。

寺院に襖絵を奉納したり、海外のブランドと  
コラボされたり才能あふれるトアさん。

御自身が手掛ける、

「平成の百文様プロジェクト」について――



**俵** 屋宗達の文化財の片面を  
復元して修復させていただいたん  
です。江戸時代から続く唐長には  
現在六百枚以上の板木があります。

百年前の修復ができるのは百年前  
に板木を彫った先祖がいて、それ  
を命がけで守り続けたから、唐長  
の仕事は存在しているのです。新  
しい文様を作成することとめて  
いることに危機感を持ったんで  
す。」

「時間軸を強く意識しました。  
過去から現在、未来へとつないで  
いかないといけない。全ては繋が  
っている。新しいことを作る  
うとすると、自発的に昔のことを  
知ろうとする。それが文化（継承）  
だと思います。」半世紀以上とまっ

ていた新文様の始まりです。

「百文様は唐長として提案する  
文様、ブランドやアーティスト、  
クリエイターとのコラボ文様、そ  
して一般公募の文様からなります。  
国籍や年齢を問わず誰でも応募し  
ていただけます。平成最後の年、  
時代の雲囲気をまとった文様を作  
るために多様性は重要です。是非  
たくさんの方に御参加いただきた  
い。京都には身近にモチーフもあ  
りますしね（笑）。」

唐長に代々伝わる寛政や天保の  
時代の文様に平成が加わります。  
百文様完成後、文様に思いを馳せ  
た百人一首も公募されます。  
文様は時を越えてこれからも生  
き続けます。過去を知り未来に縁  
を繋げてみませんか。



## 平成の百文様プロジェクト

### 平成の百文様 募集

新しい光が巡り巡って古きに光を与える

テーマ：「今」を生きるわたしたちの祈りや  
願いが込められた文様

- 締め切り／平成30年12/31 (消印有効)
- 資格・参加費／全国、どなたでも無料
- 問い合わせ／平成の百文様プロジェクト  
下京区水銀屋町620 ココン鳥丸1階 雲母唐長四条店  
info@kirakaracho.jp ☎075-353-5885 (火曜定休)
- 応募詳細は平成の百文様特設ページをご覧ください。  
<https://kirakaracho.jp/hyakumonyo/>